

2026

長岡地域振興局地域整備部概要



新潟県



新潟県長岡地域振興局  
地域整備部  
与板維持管理事務所  
小千谷維持管理事務所

新潟県長岡地域振興局地域整備部は持続可能な開発目標（SDGs）を支援しています。

# 長岡地域振興局地域整備部管内の概要



長岡地域振興局地域整備部の管内は、新潟県のほぼ中央に位置し、長岡市、見附市、小千谷市、出雲崎町の3市1町で構成されています。その面積は1,168.6km<sup>2</sup>で県土の約9%、人口は約32万4千人で県全体の約16%を占めています。

管内の中央には信濃川が流れ、東は鋸山等の東山連峰が守門岳に連なり、西は標高約300mの緩やかな丘陵地帯を経て、日本海に面しています。南東部は長岡東山山本山県立自然公園に指定されているほか、「杜々の森」は貴重な鳥類の生息地として県の自然環境保全地域に指定されています。また、海岸線は「にいがた景勝100選一位当選の地」（出雲崎町）となっているなど、豊かな自然が息づいています。

気候は夏期の高湿多照、冬期の多雪少照が特徴の典型的な日本海内陸性気候です。積雪量は山間部では200cmを超えますが、海岸部では30cm程度と地域間の差が大きいのが特徴です。

交通体系では、関越・北陸自動車道、上越新幹線などの高規格な幹線と国道8号・17号・117号およびJR信越本線などの主要幹線が早くから整備され、首都圏、北陸、南東北地方へ展開する交通の結節点として重要な位置を占めています。

産業面では、管内全体が古くからの米どころであり、農業を主産業として発展するとともに、長岡市の工作機械関連産業、見附市、小千谷市および旧栃尾市の繊維産業などの製造業が地域経済に活力を与えてきました。

## 【市町村合併の経緯】

- 平成17年4月1日  
中之島町、越路町、三島町、山古志村、小国町が長岡市に合併
- 平成18年1月1日  
栃尾市、与板町、和島村、寺泊町が長岡市に合併
- 平成22年3月31日  
川口町が長岡市に合併

|         | 面積(km <sup>2</sup> ) | 世帯数      | 人口(人)     | 過疎      |    | 特豪 |    | 都市計画区域 |    |    |     |
|---------|----------------------|----------|-----------|---------|----|----|----|--------|----|----|-----|
|         |                      |          |           | 全部      | 一部 | 全部 | 一部 | 長岡     | 栃尾 | 川口 | 小千谷 |
| 長岡市     | 長岡地域                 | 262.59   | 82,885    | 183,747 |    |    | ○  | △      |    |    |     |
|         | 中之島地域                | 42.55    | 3,845     | 10,293  |    |    |    | △      |    |    |     |
|         | 越路地域                 | 58.44    | 4,787     | 12,537  |    |    | ○  | △      |    |    |     |
|         | 三島地域                 | 36.47    | 2,441     | 6,112   |    |    |    | △      |    |    |     |
|         | 山古志地域                | 39.83    | 353       | 693     | ○  | ○  |    |        |    |    |     |
|         | 小国地域                 | 86.15    | 1,758     | 3,988   | ○  | ○  |    |        |    |    |     |
|         | 和島地域                 | 31.86    | 1,282     | 3,359   | ○  |    |    |        |    |    |     |
|         | 寺泊地域                 | 58.16    | 3,135     | 7,782   | ○  |    |    |        |    |    |     |
| 見附市     | 栃尾地域                 | 204.92   | 6,446     | 14,437  | ○  | ○  |    | △      |    |    |     |
|         | 与板地域                 | 20.05    | 2,299     | 5,673   |    |    |    |        | △  |    |     |
|         | 川口地域                 | 50.03    | 1,459     | 3,644   | ○  | ○  |    |        |    | △  |     |
|         | 管内計                  | 891.05   | 110,690   | 252,265 |    |    |    |        |    |    |     |
|         | 見附市                  | 77.91    | 15,317    | 36,725  |    |    |    |        | △  |    |     |
|         | 小千谷市                 | 155.19   | 13,016    | 31,438  |    |    | ◎  |        |    |    | △   |
|         | 出雲崎町                 | 44.41    | 1,619     | 3,600   | ◎  |    |    |        |    |    |     |
|         | 管内計                  | 1,168.56 | 140,642   | 324,028 |    |    |    |        |    |    |     |
| 全県      | 12,583.67            | 921,960  | 2,066,377 |         |    |    |    |        |    |    |     |
| 県内比率(%) | 9%                   | 15%      | 16%       |         |    |    |    |        |    |    |     |

長岡市の面積と世帯数と人口のデータは長岡市ホームページ(令和8年1月1日)  
 長岡市以外の面積と世帯数と人口のデータは県統計課ホームページ(令和8年1月1日)  
 ◎…市町村の全地域が指定されている地域  
 ○…合併前の市町村の全地域が指定されている地域  
 △…一部地域が指定されている地域  
 過疎:「過疎地域の持続的発展の支援に関する特別措置法」に基づく過疎地域  
 特豪:「豪雪地帯対策特別措置法」に基づく特別豪雪地帯

【表紙写真解説】

- ①道路改良事業  
西宮内1丁目交差点改良(長岡市西宮内)
- ②土石流対策(砂防えん堤)  
峠沢(長岡市上桐)
- ③河川改修事業  
渋味川(長岡市下山町~長岡市深沢町)
- ④河川改修事業(放水路)  
表沢川(小千谷市旭町)
- ⑤除雪業務の理解促進  
除雪学習会(見附市新潟町)
- ⑥除雪状況  
県道大沢小国小千谷線  
(長岡市小国町)
- ⑦災害防除事業  
国道402号(長岡市寺泊山田)
- ⑧ダム管理  
刈谷田川ダム(長岡市栃尾)

## 施設の概要

長岡地域整備部が所管する道路は116路線、延長962.9kmです。河川は一級河川170河川、河川延長667.3km、二級河川22河川、河川延長67.2km、合計192河川、河川延長734.5kmです。砂防は砂防232箇所、地すべり115箇所、急傾斜地120箇所の各種区域指定を行っています。海岸線の総延長は26.3kmです。

### 道路

(R7.4.1 現在)

| 区分    | 路線数 | 実延長<br>(km) | 種類別        |       |            |      | 改良率<br>(%) | 舗装率<br>(%) |            |
|-------|-----|-------------|------------|-------|------------|------|------------|------------|------------|
|       |     |             | 道路<br>(km) | 橋梁    |            | トンネル |            |            |            |
|       |     |             |            | 数     | 延長<br>(km) | 数    |            |            | 延長<br>(km) |
| 一般国道  | 8   | 237.1       | 216.9      | 180   | 10.5       | 12   | 9.7        | 87.1       | 97.9       |
| 主要地方道 | 21  | 274.7       | 263.3      | 193   | 5.3        | 12   | 6.0        | 78.1       | 97.8       |
| 一般県道  | 87  | 451.1       | 444.6      | 236   | 4.9        | 4    | 1.5        | 61.8       | 95.5       |
| 計     | 116 | 962.9       | 924.9      | 609   | 20.7       | 28   | 17.3       | 72.7       | 96.8       |
| 全県    | 515 | 5,373.3     | 5,157.6    | 3,746 | 110.1      | 211  | 105.6      | 68.8       | 97.0       |
| 県内比率  | 23% | 18%         | 18%        | 16%   | 19%        | 13%  | 16%        | -          | -          |

全県には新潟市(政令市)・長岡市を含まない。

### 河川

(R7.3.31 現在)

| 区分   | 河川数   | 河川延長(km) | 要改修延長(km) | 整備済延長(km) | 改修率(%) |
|------|-------|----------|-----------|-----------|--------|
| 一級河川 | 170   | 667.3    | 492.0     | 221.5     | 45.0   |
| 二級河川 | 22    | 67.2     | 56.2      | 25.9      | 46.1   |
| 計    | 192   | 734.5    | 548.2     | 247.4     | 45.1   |
| 全県   | 1,164 | 4,901.0  | 3,124.1   | 1,721.8   | 55.1   |
| 県内比率 | 16%   | 15%      | 18%       | 14%       | -      |

### 河川施設

| 施設名     | 諸元     | 貯水量  |
|---------|--------|--|
| 刈谷田川ダム  | ダム形式   | 直線重力式コンクリートダム                              |
|         | 堤高     | 83.5 m                                     |
|         | 堤頂高    | 202.5 m                                    |
|         | 堤頂標高   | 273.5 m                                    |
|         | 堤体積    | 214,000 m <sup>3</sup>                     |
| 刈谷田川遊水地 | 遊水地面積  | 912,000 m <sup>2</sup>                     |
|         | 総貯水容量  | 4,450,000 m <sup>3</sup>                   |
|         | 有効貯水容量 | 4,150,000 m <sup>3</sup>                   |
|         | 堆砂容量   | 300,000 m <sup>3</sup>                     |
|         | 治水容量   | 3,931,000 m <sup>3</sup> (洪水期 6/15~ 9/30)  |
|         |        | 3,250,000 m <sup>3</sup> (非洪水期 10/1~翌6/14) |
|         | 計画貯水容量 | 2,347,000 m <sup>3</sup>                   |

### 砂防

(R7.3.31 現在)

(R7.3.31 現在)

| 区分   | 指定地 |         |        |
|------|-----|---------|--------|
|      | 区域数 | 延長(m)   | 面積(ha) |
| 砂防   | 232 | 411,932 | 4,745  |
| 地すべり | 115 | -       | 4,354  |
| 急傾斜地 | 120 | -       | 134    |

| 区分   | 土砂災害警戒区域、雪崩危険箇所 |       |       | 概成整備率 |      |
|------|-----------------|-------|-------|-------|------|
|      | 管内計             | 県全体   | 県内比率% | 管内計   | 県全体  |
| 土石流  | 407             | 2,795 | 14.6  | 22.9  | 26.4 |
| 地すべり | 154             | 650   | 23.7  | 49.4  | 42.6 |
| 急傾斜地 | 439             | 1,874 | 23.4  | 24.6  | 24.0 |
| 雪崩   | 263             | 1,484 | 17.7  | 10.3  | 7.1  |

「人家5戸以上の区域」及び「人家4戸以下で整備中または整備済みの区域」を対象とする。

### 港湾・海岸

(R7.3.31 現在)

| 港湾・漁港区域 | 海岸保全区域  | 海岸地区の名称              | 区域延長  |
|---------|---------|----------------------|-------|
| 寺泊港     | 寺泊出雲崎海岸 | 井ノ鼻・久田・山田・郷本・大和田・田ノ尻 | 9.8km |
| 出雲崎漁港   | 出雲崎朝日海岸 | 石地・勝見・尼瀬             | 1.9km |

海岸延長=26.3km

# 長岡地域整備部の基本方針

## 土木部の基本方針に則り実施

### I. 安全に安心して暮らせる、暮らしやすい新潟

#### 1. 激甚化・頻発化する自然災害から県民の命と暮らしを守る防災・減災対策の推進

##### (1) 災害から県民の命と暮らしを守るハード対策等の強化

- 一定の計画に基づく河川改修工事により、洪水による水害を未然に防止する。
- 「信濃川水系（信濃川下流）流域治水協議会」や「信濃川水系緊急治水対策会議（信濃川中流）」の構成員と連携し、流域全体で水害を軽減させる「流域治水」を計画的に推進する。
- 土砂災害対策を実施し、被害の防止・軽減を図る。

##### (2) 確実な避難行動につなげる住民目線のソフト対策の強化

- 激甚化する大規模水害から県民の命を守るため、住民の主体的な避難行動を支援するソフト対策を推進する。
- 土砂災害警戒区域等に指定された区域で、土砂災害に関する啓発を行い、住民の身体や生命を守る。

#### 2. インフラ施設及び公共施設の安全の確保

##### (1) 予防保全型維持管理への転換及び維持管理の高度化・効率化の推進

- 橋りょうなど道路施設の長寿命化を図り、計画的・効果的な維持管理を行う。
- 河川巡視・点検を通じて河川の状態を常に把握し、河床に堆積した土砂の掘削、河道内や堤防上の雑木等の除去、護岸等の河川施設を補修することで、洪水が安全に流せるように治水機能を保全する。
- 社会資本の健全性を確保し、予防保全的維持管理の実現を目指す。

#### 3. 安全で快適な日常生活を実現する社会基盤の整備

##### (1) 県民の暮らしと命を守る道路整備

- 防災・防雪対策により道路ネットワークの信頼性を高める。
- 歩道を整備し、安全で利用しやすい道路空間を創る。

#### 4. 地域を支える建設産業の振興

##### (1) 経営基盤の強化

- 施工管理において発注者側と受注者側との意思疎通を図り、業務環境の改善を行う。

##### (2) 人材の確保・育成

- 県民とのコミュニケーションを一層強化し、県民の公共事業に対する理解促進・魅力増進を図るとともに、建設産業の担い手確保につながる取組を推進する。

### II. 地域経済が元気で活力のある新潟

#### 1. 魅力的で持続可能な生活環境の創出に向けたまちづくり

##### (1) 安全に安心して暮らせるまちづくり

- ネットワーク機能の高い街路網整備を進めるとともに、豪雪地帯である本県の特性を考慮し、ゆとりある街路空間の整備を進める。
- 地域間の連絡を強化し、ネットワークの形成を促進する道路を整備する。

#### 2. 雪と共に暮らす地域づくり

##### (1) 雪によるハンディキャップのない地域づくり

- 冬期の道路交通を確保するため、除雪を行うとともに融雪や雪庇落としを行う。
- 将来にわたって安定的な冬期道路交通確保を実現するための持続可能な除雪体制の構築を目指す。
- 無雪化に寄与する克雪住宅の整備を誘導するとともに、屋根雪下ろし時における転落事故の防止に有効な安全対策設備の普及促進に取り組む。

## I. 安全に安心して暮らせる、暮らしやすい新潟

近年、気候変動の影響により激甚化・頻発化する自然災害から県民の命と暮らしを守るため、被害の未然防止や軽減を図る治水対策をはじめとする「事前防災対策」の強化など防災・減災対策を推進します。あわせて、将来にわたって県民がインフラ施設を安全に利用できるよう維持管理の高度化・効率化を推進し、予防保全型維持管理への転換を目指すとともに、安全で快適な日常生活を実現するための社会基盤の整備を進めていきます。また、除雪や災害対応等、地域の安全・安心の確保や社会資本の整備等を担うとともに、地域の経済と雇用を支える重要な役割を果たしている建設産業の振興に努めていきます。

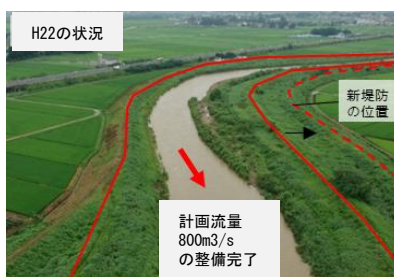
### 1. 激甚化・頻発化する自然災害から県民の命と暮らしを守る防災・減災対策の推進

#### (1) 災害から県民の命と暮らしを守るハード対策等の強化



#### 澁海川広域河川改修事業

澁海川は、十日町市（旧松之山町）に源を発し、長岡市で信濃川に合流する、延長約70.6kmの一級河川です。昭和53年6月の梅雨前線豪雨で破堤による甚大な浸水被害に見舞われたことから、昭和54年に河川改修事業に着手しました。改修延長が長く、事業費、事業期間も多大なものとなるため、段階的な改修計画を策定し、順次改修を進めています。平成21年までに、計画流量800m<sup>3</sup>/sの河道改修が完了し、平成22年以降は、計画流量1200m<sup>3</sup>/sを確保するため、川幅を広げ、河道掘削や護岸などの整備を進めています。



#### 表沢川河川改修事業

表沢川は、小千谷市の八海山に源を発し、国道17号、JR上越線、国道351号を横断し小千谷東側市街地を流下して信濃川に合流する、流域面積2.5km<sup>2</sup>、流路延長3.5kmの一級河川です。表沢川は、洪水により過去幾度か被害が発生し、特に平成29年7月の梅雨前線豪雨では、市街地部中心に、床上浸水13戸、床下浸水21戸の浸水被害となりました。この河川は、住宅密集地域を流下しており、河道拡幅による改修は困難なことから、新たに放水路を開削することで市街地を浸水被害から守る計画としています。工事は、放水路区間が令和2年3月に完成し、現在、上流側の現川拡幅区間の整備を進めています。



#### 黒川広域河川改修事業

黒川は、柏崎市の東頸城丘陵に源を発し、菖蒲川、道満川等の支川を合わせ、長岡市与板町岩方地先において信濃川に合流する、流域面積150.0km<sup>2</sup>、流路延長30.8kmの一級河川です。黒川河川改修の歴史は古く、昭和28年に事業を着手しました。途中、昭和36年の集中豪雨による流量見直しや、たび重なる洪水被害を受けつつも、下流側より順次改修を進め、被害を軽減してきました。現在は、長岡市（旧三島町）七日市地内と鳥越地内において河道の拡幅及びそれに伴う橋梁の架替工事を実施しています。



# 1. 安全に安心して暮らせる、暮らしやすい新潟

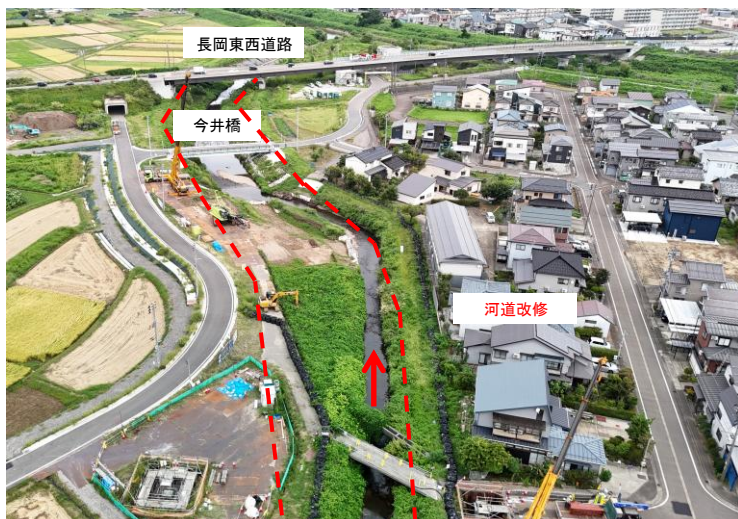
## 浄土川河川改修事業

浄土川は、金倉山に源を発し、長岡市左近地先で太田川に合流する信濃川の2次支川で、流域面積13.2km<sup>2</sup>、流路延長8.4kmの一級河川です。

河積は狭小で、昭和53年6月、昭和57年9月の洪水をはじめとし、しばしば浸水被害を受けていました。令和元年の台風19号では、信濃川の水位上昇の影響により、バックウォーター現象※1が発生し、床上浸水11戸、床下浸水115戸の被害が発生しました。

現在は、太田川合流点から水梨橋までの区間において、台風19号と同規模の洪水によるバックウォーター現象に対して浸水被害を防止するため、河道掘削や築堤などの工事を実施しています。

※1 下流側の水位上昇によって上流側の水位も上昇する現象



## 刈谷田川ダムと刈谷田川遊水地整備効果

平成16年7月13日豪雨では、刈谷田川の多くの箇所では洪水被害が発生したことから河川整備計画の見直しを行いました。刈谷田川ダムは貯水容量のうち、利水容量の一部（681,000m<sup>3</sup>）を洪水調整容量へ振り替えました。

また、見附市街地を流れる区間は川幅を広げることが難しいことから刈谷田川遊水地を建設しました。

(計画貯水容量2,347,000m<sup>3</sup>)

平成23年7月27日から30日の豪雨では、平成16年7月13日と同様に総雨量400mmを超える雨量を記録しましたが、ダムの洪水調節と、洪水を遊水地にためた結果、大きな被害はありませんでした。



刈谷田川ダム



刈谷田川遊水地  
(平成23年7月豪雨 遊水地越流状況)

## 土砂災害対策事業の推進

長岡市栢尾・山古志地域などの山地部や出雲崎町の海岸部などでは、急峻な地形や弱い地質のため、これまでに土石流・地すべり・がけ崩れなどの土砂災害に数多く見舞われています。

このため、人家や地域の社会経済活動を支える幹線道路、公共施設などを守るため、土砂災害防止の対策工事を実施しています。



土石流対策 (砂防えん堤工)  
浄土川第6号 (長岡市渡沢町)



地すべり対策 (法面工、水路工)  
新山地区 (長岡市東中ノ俣)



がけ崩れ対策 (杭式防護柵工)  
村松北(3)地区 (長岡市村松町)

## (2) 確実な避難行動につなげる住民目線のソフト対策の強化

### 洪水や土砂災害の被害を軽減するソフト対策

洪水時は、雨量や河川水位をリアルタイムで県民に提供するとともに、水防団出動や住民避難の参考となる「水防警報」の発表や「水位情報」などの周知をしています。平時においても、確実な避難と被害の最小化を図るため、浸水想定区域図を作成し水害リスクの共有を進め、市町村の洪水ハザードマップ作成を支援しています。土砂災害については、降雨状況による災害発生危険度の高まりに応じて、「土砂災害警戒情報」を発表しています。また、平時から住民の生命・財産を守ることを目的に砂防ボランティア・市や町の職員・近隣の住民と合同で土砂災害に関する啓発や土砂災害警戒区域に位置する急傾斜面の点検を行い、防災意識の普及、向上を目的に地域防災懇談会を実施しています。

トピックス 「水位観測網の充実」



危機管理型水位計

洪水時の水位観測に特化し、コストダウン・コンパクト化を図った水位計（危機管理型水位計）を管内の23河川、計27箇所を設置しました。



土砂災害に関する啓発  
見附市元町



土砂災害特別警戒区域点検  
見附市元町



地域防災懇談会  
出雲崎町立出雲崎小学校

## 2. インフラ施設及び公共施設の安全の確保

### (1) 予防保全型維持管理への転換及び維持管理の高度化・効率化の推進

#### 橋りょう補修事業（長寿命化事業）

橋りょうの長寿命化による修繕・架け替え費用の縮減や予算の平準化を図るため、定期点検を実施し、計画的・効率的に橋りょうの補修工事を進めています。



補修工事状況  
長生橋（長岡市大島町）



塗装塗替状況  
与板橋（長岡市与板町）



床板鉄筋の露出状況  
旭橋（小千谷市元町）



桁材の損傷状況  
長生橋（長岡市大島町）



塗装塗替状況  
与板橋（長岡市与板町）



支承部の損傷状況  
旭橋（小千谷市元町）

# 1. 安全に安心して暮らせる、暮らしやすい新潟

## 河川の維持管理

近年、局所的な集中豪雨が多発しており、堤防の決壊や河川のはん濫などによる水害を防止又は軽減していくためには、適切に河川の維持管理を行う必要があります。

定期的な点検等により河川の状態を把握し、河道内の堆積土砂の掘削や伐木を行うなど、河川の維持管理の取組を進めています。

一級河川焼田川 河道掘削



工事着手前



工事完了後

一級河川新柿川 河道掘削



工事着手前



工事完了後



河川巡視状況

## 橋りょう・トンネル・河川施設などの定期点検

橋りょう、トンネル、河川施設などの定期的な点検を行い、劣化状況を把握し、補修の優先度を定めます。



橋りょう点検車による点検  
西倉橋（長岡市西川口）



走行型トンネル点検車による点検  
塩谷トンネル（小千谷市塩谷）



技術者による砂防施設点検  
大野沢川（長岡市山古志種苧原）

## 寺泊港 港湾改修事業

寺泊港は、昭和27年に地方港湾指定され、施設の整備と機能の向上を進めてきました。寺泊は古くから海上交通の要所として繁栄し、港に隣接する寺泊魚の市場通りは、通称「魚のアメ横」とも呼ばれ、地場産の新鮮な魚介類等が集結する長岡市屈指の集客施設です。

寺泊港では大河津分水から放出される土砂で海浜が形成される一方で、土砂は港内にも流入し、船舶の航行に支障をきたすようになりました。そこで昭和39年から防砂堤の整備に着手し、防砂堤（第2）の整備と、航路泊地の浚渫を進めています。



航路泊地浚渫工事



防砂堤のブロック据付工

### 3. 安全で快適な日常生活を実現する社会基盤の整備

11 住み続けられるまちづくりを



#### (1) 県民の暮らしと命を守る道路整備

##### 災害防除事業・雪寒対策事業

落石や雪崩による交通障害や地吹雪による視程障害を防ぐため、防護柵や吹き止め柵を設置し、安全で快適な道路交通を確保しています。



崩壊土砂防護柵の設置状況  
一般国道402号(長岡市寺泊山田)



雪崩防護柵の設置状況  
一般県道天納川口線(長岡市川口牛ヶ島)



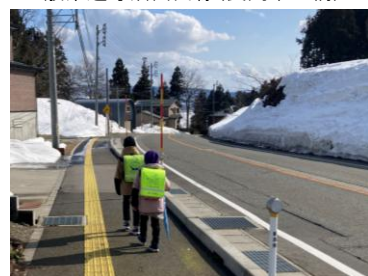
吹き止め柵設置状況  
一般県道寺泊西山線(長岡市上桐)

#### (主)長岡片貝小千谷線 歩道整備事業

当路線は小千谷市立千田小学校の通学路ですが、多くの大型車が通行中、歩道がないため狭い路肩を登校している状況です。歩道整備によって児童たちが安全に安心して利用できる通学路の確保に取り組んでいます。



未整備区間 (小千谷市小栗田)



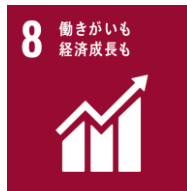
整備済区間 (小千谷市小栗田)

### 4. 地域を支える建設産業の振興

#### (1) 経営基盤の強化

##### 業務環境の改善の取組

新潟県建設業協会長岡支部・三条支部・与板支部・小千谷支部とともに、効率的かつ効果的な社会資本整備を行う上で重要な知識や技術の習得及び発注者側と受注者側との意思疎通を図り、業務環境の改善を行うために「建設業協会との施工管理等に係る研修会」を毎年行っています。



8 働きがいも  
経済成長も



17 パートナシップで  
目標を達成しよう

#### (2) 人材の確保・育成

##### みんなの土木教室

県教育庁中越教育事務所、市町教育委員会、小中学校長会などに協力いただいて、出前講座や現場見学会を開催するほか、建設関係団体と協力して土木の仕事を紹介する「土木出張PR」などを行っています。



土木出張PR (座学)  
新潟県立栃尾高等学校



土木出張PR (測量体験)  
小千谷市立片貝中学校



長生橋学習会 (座学)  
長岡市立千手小学校

#### コミュニティFMとの連携による情報発信



コミュニティFM局「FMながおか」と包括連携協定を締結し、災害時に県管理道路や河川情報を発信し、平常時に地域の建設工事に携わる技術者へのインタビューを通じて建設業のやりがいや魅力を発信しています。  
番組名：「建ち上がれタウンクリエイター まちクリ！」FMながおか (80.7MHz) 毎週月曜日18:30～

## II. 地域経済が元気で活力のある新潟

交通の円滑化とネットワーク形成を促進するために社会資本の整備を進めていきます。また、魅力があり住みやすく暮らしやすいまちづくりに取り組み、住みやすい快適な生活環境の実現に努めるとともに、除雪体制の維持や雪下ろしにおける事故防止対策など雪によるハンディキャップのない地域づくりを進めていきます。

### 1. 魅力的で持続可能な生活環境の創出に向けたまちづくり

#### (1) 安全に安心して暮らせるまちづくり

11 住み続けられるまちづくりを



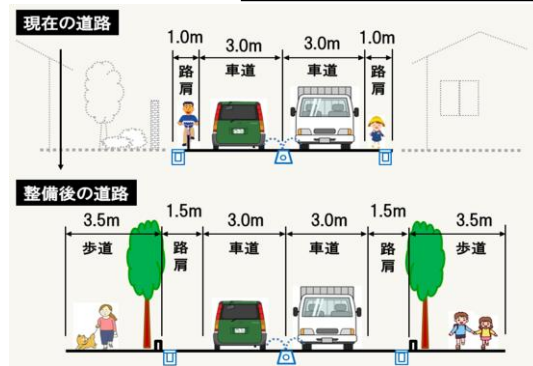
#### 都市計画道路 見附下新町線

都市計画道路見附下新町線は、JR見附駅から中心商店街を通過して刈谷田川左岸地域を結ぶ、沿道の経済・生活活動を支える重要路線として計画されました。見附市の駅周辺の開発整備などとの相乗効果も期待されています。

計画区間の一部は小学校の通学路であり、現在は歩道がない幅員狭小の道路を車両とすれ違いながら通学している状況です。歩道整備によって児童たちが安全に安心して利用できる通学路の確保に取り組んでいます。



現道通学状況

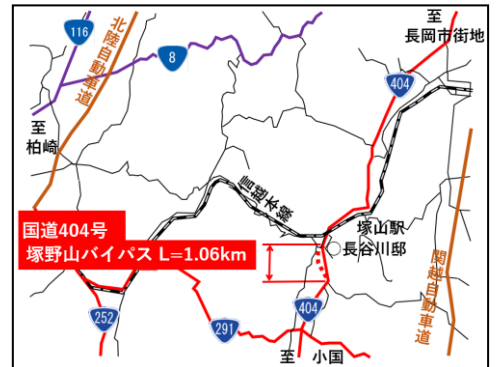


整備イメージ図

#### 一般国道 404号 塚野山バイパス

国道404号は、長岡地域と越路・小国地域を結ぶ幹線道路です。事業箇所は人家が連なって幅員が狭く、特に冬期は路肩の堆雪により自動車のすれ違いが困難となり、歩行者も危険な状態となっています。

本事業により通過交通を集落内からバイパスへ振り替えることで、自動車及び歩行者の安全性の向上が図られます。あわせて老朽化した小坂橋の架け替えも行います。



小国方面を望む



越路方面を望む

### 一般国道 402号 寺泊バイパス

沿線住民にとって唯一の生活道路である国道402号の安全性向上および交通渋滞の緩和を目的として整備を行います。このバイパスが完成することで観光客の安全性が向上するため寺泊ブランドのイメージアップにつながります。また、自動車交通の円滑化により日本海側の観光地の連携強化も期待できます。



現道渋滞状況

※バイパスイメージ図

## 2. 雪と共に暮らす地域づくり



### (1) 雪によるハンディキャップのない地域づくり

#### 道路除雪・雪寒施設整備事業

冬期の交通を確保するため、機械による除雪や消融雪施設の設置などで対応しています。また、安全確保のため、標識などの雪を除去しています。



道路除雪状況  
一般県道大沢小国小千谷線(長岡市小国町)



地中熱を利用したヒートパイプによる融雪状況  
一般国道117号(小千谷市塩殿)



雪庇落とし状況  
主要地方道柏崎高浜堀之内線(長岡市山古志)

#### 除雪業務に対する県民の理解促進

除雪に関する学習会の実施を通し、除雪業務に対する県民の理解促進を図るとともに、除雪オペレータの担い手確保を図ります。



除雪学習会(座学)  
長岡市立日越小学校



除雪学習会(試乗体験)  
長岡市立和島小学校

#### 克雪すまいづくり支援事業

屋根の雪下ろしによる負担軽減及び危険防止を図るため、克雪住宅(屋根下ろしの必要がないように工夫された住宅)の整備を誘導するとともに、屋根からの転落事故防止に有効な命綱固定アンカーの普及促進に取り組んでいます。



克雪住宅(落雪式住宅)の例



命綱固定アンカーを使用した雪下ろしの状況

## 選奨土木遺産の魅力発信

### 選奨土木遺産とは

歴史・文化的に価値の高い土木構造物の顕彰を通じて広くPRし、貴重な土木遺産を保存し続けることを目的に公益社団法人土木学会が平成12年に設立した認定制度です。認定により、土木遺産の文化的価値への理解を促すとともに、土木技術者としての責任感、文化財創出意欲促進、まちづくり資源としての活用、失われるおそれのある土木遺産の救済などが期待されています。

### 長岡のシンボリック存在

ちょうせいばし

## 長生橋

平成25年度  
選奨土木  
遺産認定

完成：1937(昭和12)年10月12日  
延長：850.8m / 幅員：7.0m  
橋梁形式：下路式ゲルバー鋼ワーレントラス橋  
総工費：78万円（現在の価値で約23億円）

長生橋は、毎年8月2日と3日に行われる大花火大会で「ナイアガラ花火」が架かる橋として有名で、長岡市のシンボリック存在となっています。現在の長生橋は1937（昭和12）年に完成した3代目の橋で、88歳を迎える「長生き」橋です。信濃川で分断される長岡市の東西をつなぐ交通の要所として、今も人々の暮らしを支えています。



長生橋米寿誕生祭（開催日：令和7年10月12日）



長生橋  
長岡地域整備部ホームページ  
長岡トボク図鑑QRコード

### 橋のリサイクル

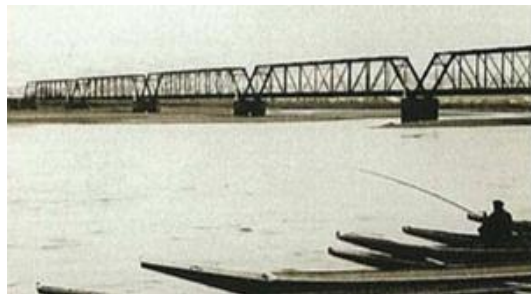
きょううらむらてつきょう

## 旧浦村鉄橋

令和元年度  
選奨土木  
遺産認定

旧浦村鉄橋は、1898年（明治31年）に長岡市越路地域の信濃川に架けられた鉄道橋です。その後、複線化等のため鉄道橋を新設することになり、旧浦村鉄橋は1952年（昭和27年）に日本国有鉄道から新潟県に払い下げられ、岩田橋、不動沢橋、旧越路橋の3道路橋として分割して整備されることになりました。

岩田橋、不動沢橋は旧浦村鉄橋の一部をそのまま移設利用しており、127年経過した現在でも鉄道橋当時と同じ姿で使われています。旧越路橋は、1998年に現在の越路橋へ架け替えられる際、地域住民の熱意により、2002年にその一部が移設・保存されました。旧浦村鉄橋は、時代によってその役割を変えながら、地域の発展に大きく貢献し、地域住民に愛され続けています。



旧浦村鉄橋



岩田橋  
長岡市岩田



不動沢橋  
長岡市不動沢



旧越路橋（保存橋）  
長岡市浦

## 日本一の手掘り隧道

なかやまずいどう

## 中山隧道

平成18年度

選奨土木  
遺産認定

1949(昭和24)年貫通

幅 約1.2m / 高さ 約1.8m / 延長 922m (貫通時)

土質：砂質泥岩、半固結粘土、砂・礫

見学できる場所：長岡市側坑口～坑内約70m間

中山隧道は長岡市東部にある小松倉集落と魚沼市広神地区を結ぶ人道用のトンネルです。当地域は豪雪地帯であり、冬期は険しい峠を越えるしかなく、物資の輸送や急病人の搬送など不便を強いられていました。小松倉の人々は自らの生命と生活を守るため、ノミやツルハシを使い、1933（昭和8）年から16年という歳月を費やし、中山隧道と呼ばれるトンネルを手掘りで掘り抜いたのです。中山隧道は、人が通れる手掘りの隧道としては日本一の長さを誇ります。普通は、新しいトンネルができると古いトンネルは閉鎖しますが、この貴重な隧道をなんとか保存したいという地域の皆さんの熱意もあって、補強工事を実施して保存することになりました。

現存するコンクリートトンネルでは  
日本最古!?

えんじょうじずいどう

## 円上寺隧道

令和3年度

選奨土木  
遺産認定

1915(大正4)年完成

断面形状：円形(直径3.6m) / 延長1203m

構造：コンクリートブロック積、コンクリート覆工、それらの複合

長岡市寺泊円上寺（呑口）～長岡市寺泊磯町（吐口）

大河津分水の南側に、かつて円上寺潟という大きな沼がありました。この地域は、信濃川と寺泊丘陵に挟まれ、水害常襲の低湿地帯であり、そこを流れる島崎川が唯一の排水河川でした。1909（明治42）年、大河津分水路工事の再開に伴い、島崎川は排水先である西川と分断されたため、この地域一帯の水を直接日本海へ排水する水路（新島崎川）を掘り、寺泊丘陵を貫く円上寺隧道が1915（大正4）年に完成しました。円上寺隧道は完成から100年以上が経った今でも、現役の水路トンネルとして使われ続けています。



大河津分水ができる前の円上寺潟周辺



現在の円上寺潟周辺



貫通当時の雰囲気を今なお伝える坑内



現在の中山トンネルと中山隧道



円上寺隧道が建設された当時は、トンネルの覆工材料としてはレンガや石材が主流でした。日本に現存するコンクリート製トンネルでは最古と言われています。

旧浦村鉄橋 中山隧道 円上寺隧道

長岡地域整備部ホームページ

選奨土木遺産QRコード



長岡地域振興局地域整備部のあゆみ

| 西暦   | 年号   | 月  | 地域整備部の出来事   | 月  | 地域の出来事                         |
|------|------|----|---|----|--------------------------------|
| 1915 | 大正 4 | 3  | ・円上寺隧道竣工  |    |                                |
|      |      | 4  | ・内務部土木課長岡土木派遣所、小千谷土木派遣所を設置  |    |                                |
| 1921 |      | 10 | ・長岡、小千谷土木派遣所を長岡、小千谷土木工区に改称  | 7  | ・長岡市役所庁舎を長岡市坂ノ上町(現 長岡市大手通)に設置  |
| 1922 |      | 11 |   | 8  | ・大河津分水路竣工                      |
| 1925 |      | 14 | ・長岡、小千谷土木工区を長岡、小千谷土木派遣所に改称  |    |                                |
| 1931 | 昭和 6 |    |   | 6  | ・大河津分水路自在堰復旧補修完了               |
| 1932 |      | 7  |   | 8  | ・新潟県庁舎を新潟市学校町(現 新潟市中央区学校町通)に設置 |
| 1933 |      | 8  | ・内務部土木課が土木部に昇格<br>・刈谷田川砂防工事事務所を設置   |    |                                |
| 1937 |      | 12 | ・長生橋竣工  |    |                                |
| 1941 |      | 16 | ・長岡、小千谷土木派遣所を長岡、小千谷土木出張所に改称   |    |                                |
| 1943 |      | 18 | ・刈谷田川砂防工事事務所を栃尾砂防事務所に改称   |    |                                |
| 1945 |      | 20 | ・県土木派遣所を設置<br>・県長岡復興建設事務所を設置  | 8  | ・長岡大空襲                         |
| 1946 |      | 21 | ・県長岡復興建設部を発足(本格的な戦災復興に当たる)  | 5  | ・長岡市役所庁舎を長岡市坂ノ上町(現 長岡市大手通)に再建  |
| 1949 |      | 24 | ・中山隧道(手掘り隧道)竣工  |    |                                |
| 1952 |      | 27 | ・長岡土木出張所と板分所を設置<br>・長岡土木出張所による県管理道路初の降雪初期機械除雪を実施  |    |                                |
| 1961 |      | 36 |   | 1  | ・昭和36年豪雪 災害救助法発動               |
|      |      |    |   | 2  | ・長岡地震発生                        |
|      |      |    |   | 8  | ・長岡市による全国初の消雪パイプ試験施工           |
| 1962 |      | 37 | ・栃尾砂防事務所を長岡土木出張所栃尾分所に組織替え<br>・長岡、小千谷土木出張所に工務第2課、長岡土木出張所に用地課を設置  | 3  | ・新山地すべり発生                      |
| 1963 |      | 38 |   | 1  | ・昭和38年1月豪雪 災害救助法発動             |
| 1964 |      | 39 | ・与板分所が与板土木出張所となる<br>・長岡復興建設部を廃止   | 6  | ・新潟地震発生                        |
|      |      |    |   | 7  | ・刈谷田川水害 災害救助法発動                |
| 1965 |      | 40 | ・小千谷土木出張所に用地課を設置  |    |                                |
| 1966 |      | 41 | ・与板土木出張所に用地課を設置<br>・長岡、小千谷、与板土木出張所を長岡、小千谷、与板土木事務所に改称  |    |                                |
| 1967 |      | 42 | ・長岡土木事務所に工務第3課を設置<br>・長岡、小千谷土木事務所に建築課を設置<br>・羽黒トンネル竣工(S37年着工)   |    |                                |
| 1970 |      | 45 | ・長岡土木事務所が今朝白町から四郎丸町に移転  | 11 | ・長岡大橋竣工(暫定2車線供用)               |
| 1971 |      | 46 | ・長岡土木事務所にダム建設課を設置   |    |                                |
| 1973 |      | 48 | ・長岡土木事務所に維持管理課を設置、工務第3課を廃止、庶務課に庶務係と行政係を設置、維持管理課に維持第1係と維持第2係を設置  |    |                                |
| 1974 |      | 49 | ・小千谷土木事務所に維持管理課とダム管理課を設置<br>・長岡土木事務所にダム建設課を廃止   |    |                                |
| 1975 |      | 50 |   | 11 | ・長岡ニュータウン着工                    |
| 1976 |      | 51 | ・与板土木事務所に維持管理課を設置、工務第1課及び2課を廃止、工務課を設置   | 10 | ・長岡技術科学大学開学                    |
| 1977 |      | 52 | ・小千谷、与板土木事務所の庶務課に庶務係と行政係を設置<br>・与板土木事務所に建築係、維持管理課に維持係、港湾課を設置<br>・小千谷土木事務所に維持第1係、維持第2係を設置、ダム建設課を廃止                         |    |                                |
| 1978 |      | 53 | ・長岡土木事務所の庶務課に建設係、維持管理課に開発係を設置<br>・小千谷土木事務所の用地課に用地係、工務第1課に道路係を設置<br>・長岡土木事務所の災害復旧課を設置                                      | 6  | ・梅雨前線豪雨による渋海川破堤、大野地すべり発生       |
|      |      |    |   | 9  | ・北陸自動車道新潟～長岡間開通                |
| 1980 |      | 55 | ・長岡土木事務所の維持管理課にダム管理係を設置<br>・長岡土木事務所刈谷田分室を設置<br>・刈谷田川ダム竣工(S43年着工)<br>・長岡土木事務所の災害復旧課を廃止                                     | 4  | ・虫亀地すべり発生                      |
|      |      |    |   | 12 | ・濁沢地すべり発生                      |
| 1981 |      | 56 | ・長岡土木事務所に下水道課を設置  |    |                                |
| 1982 |      | 57 |   | 11 | ・上越新幹線開業                       |
| 1983 |      | 58 | ・入面トンネル竣工(S53年着工)   |    |                                |
| 1984 |      | 59 | ・小千谷土木事務所の工務第1課に道路第1係及び道路第2係、工務第2課に治水第1係及び治水第2係を設置  | 1  | ・昭和59年豪雪                       |
|      |      |    |   | 5  | ・蓮平地すべり発生                      |
| 1985 |      | 60 | ・長岡、小千谷、与板土木事務所に土木工事検査員を設置<br>・長岡大手大橋竣工(暫定2車線供用)  | 6  | ・新潟県庁舎を新潟市新光町(現 新潟市中央区新光町)に設置  |
|      |      |    |   | 10 | ・関越自動車道長岡～練馬間全線開通              |
| 1986 |      | 61 | ・与板土木事務所用地課に用地係、港湾課に港湾係を設置<br>・長岡土木事務所下水道課及び小千谷土木事務所工務第2課に下水道係を設置<br>・楡原トンネル竣工(S57年着工)                                    |    |                                |
| 1988 |      | 63 | ・長岡、小千谷土木事務所工務第1課を道路課、工務第2課を治水課に改称<br>・小千谷土木事務所下水道係を廃止し、下水道課を設置<br>・小千谷土木事務所に技術次長(維持管理課長兼務)を配置<br>・新穂トンネル竣工(S51年着工)       |    |                                |
| 1989 | 平成 元 | 11 | ・長岡大橋4車線開通  |    |                                |
| 1990 |      | 2  | ・長岡土木事務所に都市整備課(都市整備係・下水道係)を設置し、下水道課及び維持管理課開発係を廃止<br>・長岡土木事務所の用地課を用地第1、2係に再編<br>・小千谷土木事務所の維持係及び工務係をそれぞれ維持第1、2係及び工務第1、2係に再編 |    |                                |
| 1991 |      | 3  | ・小千谷土木事務所の用地係を用地第1、2係に再編<br>・長岡、小千谷、与板土木事務所の維持管理課、道路課、治水課に計画専門員を配置  | 3  | ・入塩川地すべり発生                     |
| 1992 |      | 4  | ・与板土木事務所に技術次長を配置し、長岡、小千谷、与板土木事務所に計画調整課を設置<br>・小千谷土木事務所の庶務課に建設係を設置<br>・石峠トンネル竣工(S58年着工)                                    | 3  | ・「新日本海フロント・新潟県」のシンボルマーク制定      |

## 長岡地域振興局地域整備部のあゆみ

| 西暦   | 年号  | 月                        | 地域整備部の出来事   | 月            | 地域の出来事  |
|------|-----|--------------------------|---|--------------|---|
| 1993 | 平成5 | 4<br>12                  | ・長岡、小千谷、与板土木事務所の維持管理課に技術専門員を配置<br>・羽黒歩道トンネル竣工(S59年着工)   |              |   |
| 1994 |     | 3<br>4<br>11             | ・小千谷土木事務所の下水道課を廃止<br>・長岡、小千谷、与板土木事務所の用地課、工務関係課、建築課にスタッフ制(課長代理、主査、建築専門員)を導入し、係制を廃止<br>・蔵王橋竣工   |              |   |
| 1995 |     | 7                        |   | 7<br>8       | ・7.11豪雨災害<br>・集中豪雨による猿橋川破堤  |
| 1997 |     | 9                        |   | 12           | ・長岡大手通り地下駐車場、シンボルロード、アーケード竣工  |
| 1998 |     | 4<br>10<br>11<br>12      | ・長岡、小千谷、与板土木事務所に計画調整課長を配置<br>・秋葉トンネル竣工(H4年着工)<br>・越路橋竣工<br>・中山トンネル竣工(H7年着工、中山隧道と隣接する新中山トンネル)  | 7            | ・国営越後丘陵公園一部オープン   |
| 1999 |     | 4<br>11<br>7             | ・長岡土木事務所に用地調整員を1名ずつ配置<br>・技能労務職員の職名を技術員、事務員に変更<br>・種苧原トンネル竣工(H4年着工)<br>・中永トンネル竣工(H5年着工)<br>・栃尾トンネル竣工(H6年着工)   |              |   |
| 2000 |     | 12<br>3<br>10            | ・大積トンネル竣工(H6年着工)<br>・城山トンネル竣工   |              |   |
| 2001 |     | 13<br>10<br>11           | ・一般国道352号中永バイパス開通<br>・桜町トンネル竣工(H4着工)  | 3            | ・大貝トンネル竣工(H9着工)旧柏崎土木事務所施工   |
| 2002 |     | 14<br>3                  | ・長岡土木事務所栃尾分所を廃止   |              |   |
| 2003 |     | 15<br>10                 | ・一般国道290号栃尾東バイパス開通  |              |   |
| 2004 |     | 4<br>16<br>8<br>12       | ・地域振興局移行に伴い、長岡土木事務所を地域整備部に改組<br>・長岡の地域整備部の下部組織として与板、小千谷維持管理事務所を設置<br>・長岡地域振興局地域整備部に専任の庶務課長を設置<br>・長岡地域整備部計画調整課に副課長を設置<br>・長岡地域整備部に災害復旧課を設置<br>・長岡地域整備部に地震災害復旧課を設置                                     | 3<br>7<br>10 | ・陣ヶ峰地すべり発生、西谷川200m埋塞<br>・平成16年7月新潟・福島豪雨<br>・平成16年新潟県中越地震                    |
| 2005 |     | 17<br>4<br>12            | ・長岡地域整備部災害復旧課及び地震災害復旧課を統合し、長岡地域振興局に災害復旧部を設置<br>・濁沢トンネル竣工(H14年着工)  |              |   |
| 2006 |     | 18<br>4<br>12            | ・小千谷維持管理事務所維持管理課維持第1・2係を維持管理課維持係に統合<br>・長岡地域整備部維持管理課ダム管理係を廃止、治水課ダム管理係を設<br>・地蔵トンネル竣工(H15年着工)  | 11           | ・「中山隧道」の土木遺産認定  |
| 2007 |     | 3<br>4<br>10<br>12       | ・長岡地域整備部計画調整課の副課長を廃止<br>・一般県道小千谷長岡線の復旧が完了<br>・長岡災害復旧部用地第1課、用地第2課を用地第1課に改組、用地第3課を用地第2課に名称変更、道路復旧第1課、道路復旧第2課、河川復旧第1課、河川復旧第2課を震災工務第1課に改組、道路復旧第3課、河川復旧第2課を震災工務第2課に改組<br>・一般国道291号竹沢拡幅開通<br>・中越大震災の道路復旧が完了 | 7            | ・平成19年新潟県中越沖地震  |
| 2008 |     | 20<br>3                  | ・長岡災害復旧部用地第1課を用地課に名称変更、業務課、用地第2課、震災工務第1課及び震災工務第2課を廃止  |              |   |
| 2009 |     | 21<br>3<br>4<br>6<br>9   | ・長岡災害復旧部を廃止<br>・長岡地域整備部に河川改良復旧課を設置<br>・川口橋竣工<br>・大手大橋4車線開通  | 9            | ・関越自動車道長岡南越路スマートIC開通  |
| 2010 |     | 22<br>4<br>11<br>12      | ・長岡地域整備部河川改良復旧課を廃止<br>・一般県道栃尾田井線田井バイパス開通<br>・白山トンネル竣工(H19年着工)   |              |   |
| 2011 |     | 9<br>23<br>10            | ・長岡地域整備部に災害復旧担当副部長、災害復旧課を設置<br>・刈谷田川災害復旧助成事業竣工  | 3<br>7       | ・平成23年東北地方太平洋沖地震<br>・平成23年7月新潟・福島豪雨(刈谷田川遊水地で越流発生、洪水調節効果を確認)                 |
| 2012 |     | 24<br>4                  |   | 4            | ・長岡市役所庁舎を長岡市大手通1丁目のアオーレ長岡に移転  |
| 2013 |     | 25<br>11<br>7<br>8<br>11 | ・フェニックス大橋竣工(暫定2車線供用)  | 7<br>8<br>11 | ・平成25年7月・8月豪雨<br>・長岡市寺泊山田地区で地すべり発生<br>・「長生橋」の土木遺産認定                         |
| 2014 |     | 26<br>4                  | ・長岡地域整備部の庶務課行政係を行政第1係と行政第2係に再編  |              |   |
| 2016 |     | 28<br>3<br>4<br>11       | ・長岡地域整備局と「FMながおか」が包括連携協定を締結<br>・長岡地域整備部の道路課、都市整備課を統合し道路・都市整備課を設置<br>・一般国道117号千谷バイパス開通   | 1<br>7       | ・平成28年1月集中豪雪による国道8号で発生した大規模な交通障害<br>・FMながおか「建ち上げ、タウンクリエーター(まちくり!)」番組放送がスタート |
| 2017 |     | 29<br>3<br>10<br>12      | ・都市計画道路横山町亀貝線(稲葉立体交差)開通<br>・塩谷川災害復旧助成事業竣工<br>・長岡地域整備部災害復旧担当副部長を廃止<br>・一般国道404号長岡東西道路暫定2車線にて全線開通   | 3            | ・北陸自動車道長岡北スマートIC開通<br>・芋川地区直轄地すべり対策事業竣工                                     |
| 2018 |     | 30<br>4<br>11            | ・長岡地域整備部災害復旧課を廃止<br>・郷本川捷水路竣工   |              |   |
| 2019 | 令和元 | 3<br>10<br>11            | ・床上浸水対策特別緊急事業(柿川放水路)竣工  | 10<br>11     | ・令和元年東日本台風<br>・「旧浦村鉄橋」の土木遺産認定   |
| 2020 |     | 2<br>3                   | ・表沢川放水路竣工   |              |   |
| 2021 |     | 3<br>12                  | ・都市計画道路見附下新町線(瑞祥橋)開通<br>・都市計画道路本町小栗田線開通   | 11           | ・「円上寺隧道」の土木遺産認定   |
| 2022 |     | 4<br>3                   | ・一般県道滝谷三和線上条改良開通  | 12           | ・令和4年の大雪による国道8号で発生した大規模な立ち往生  |
| 2023 |     | 5                        |   | 5            | ・貝喰川放水路埋蔵文化財の本格調査開始   |
| 2024 |     | 6<br>8                   | ・主要地方道小千谷十日町津南線真人拡幅竣工   | 1            | ・令和6年能登半島地震   |
| 2025 |     | 7<br>3                   | ・一般国道352号中永拡幅竣工   |              |   |

## 組織の概要

| 地域機関名             | 所管区域   | 課名   | 主たる所管業務  | 連絡先(0258)   |         |
|-------------------|--|--|--|---|---------|
| 地域整備部             | 長岡市<br>小千谷市<br>見附市<br>出雲崎町                                     | 庶務課  | 庶務係  | 人事、経理及び庶務等に関すること。                                       | 38-2617 |
|                   |  |  | 建設業係   | 入札及び契約等に関すること。  | 38-2618 |
|                   |  |  | 行政第1係  | 道路占用許可・道路工事施行承認、特殊車両通行許可、屋外広告物許可(長岡市、見附市を除く)に関すること。     | 38-2619 |
|                   |  |  | 行政第2係  | 河川占用許可、砂防・地すべり・急傾斜地の許可、土砂災害防止法の指定区域、港湾・海岸の使用(占用)に関すること。 | 38-2639 |
|                   | 用地課  | 公共事業用地の取得に関すること。<br>登記処理及び建物等の物件等移転補償、損失補償に関すること。                                    | 38-2631  |   |         |
|                   | 計画調整課  | 事業計画及び管内市町村の業務指導。広報に関すること。   | 38-2614  |   |         |
|                   | 道路・都市整備課   | 県道、国道(県管理)の道路整備(道路改築、バイパス工事及び歩道整備等)に関すること。<br>都市計画道路の整備、電線共同溝(電線類の地中化)の整備に関すること。     | 38-2626<br>38-2622   |   |         |
|                   | 小千谷市<br>見附市<br>出雲崎町<br>刈羽村                                     | 建築課  | 建築物等の確認・検査、長期優良住宅の認定、民間の建築物解体工事の届出に関すること。<br>宅地建物取引業免許、建築士事務所に関すること。(長岡市、柏崎市を含む) | 38-2625   |         |
|                   | 長岡市<br>(長岡地域)<br>(中之島地域)<br>(越路地域)<br>(山古志地域)<br>(栃尾地域)<br>見附市 | 維持管理課  | 県管理道路(舗装、橋梁、交通安全施設、消融雪施設等)の維持管理、道路除雪、及び道路パトロール等に関すること。                           | 38-2621   |         |
|                   |  | 治水課  | 河川改修、砂防、地すべり対策及び急傾斜地崩壊対策等に関すること。<br>河川・砂防・地すべり及び急傾斜地施設等の維持管理、水防等に関すること。          | 38-2628   |         |
| 刈谷田分室             | 刈谷田川ダムの管理に関すること。   |  | 52-5311  |   |         |
| 与板<br>維持管理事務所     | 長岡市<br>(与板地域)<br>(三島地域)<br>(和島地域)<br>(寺泊地域)<br>出雲崎町            | 業務課  | 庶務係  | 庶務、庁舎管理、入札・契約に関すること。                                    | 72-3181 |
|                   |  |  | 用地担当   | 公共事業用地の取得、登記処理及び建物等の物件等移転補償、損失補償に関すること。                 | 72-3183 |
|                   | 維持管理課  | 県管理道路(舗装、橋梁、交通安全施設、消融雪施設等)の維持管理、道路除雪、及び道路パトロール等に関すること。                               | 72-3185  |   |         |
|                   | 工務課  | 河川改修、砂防、地すべり対策及び急傾斜地崩壊対策等に関すること。<br>河川・砂防・地すべり及び急傾斜地施設等の維持管理、水防、港湾・漁港・海岸整備事業等に関すること。 | 72-3187  |   |         |
| 小千谷<br>維持管理事務所    | 小千谷市<br>長岡市<br>(小国地域)<br>(川口地域)                                | 業務課  | 庶務係  | 庶務、庁舎管理、入札・契約に関すること。                                    | 83-0847 |
|                   |  |  | 用地担当   | 公共事業用地の取得、登記処理及び建物等の物件等移転補償、損失補償に関すること。                 | 83-0850 |
|                   | 維持管理課  | 県管理道路(舗装、橋梁、交通安全施設、消融雪施設等)の維持管理、道路除雪、及び道路パトロール等に関すること。                               | 83-0854  |   |         |
|                   | 工務課  | 河川改修、砂防、地すべり対策及び急傾斜地崩壊対策等に関すること。<br>河川・砂防・地すべり及び急傾斜地施設等の維持管理、水防等に関すること。              | 83-0860  |   |         |
| 土木部技術管理課(地域整備部駐在) | 土木工事検査室  | 土木工事検査業務に関すること。  | 38-2632  |   |         |

## 案内図



### 【長岡地域整備部】

〒940-8567 長岡市沖田2丁目173-2 〒940-2402 長岡市与板町与板乙5935-1 〒947-0028 小千谷市城内2丁目8-28

### 【与板維持管理事務所】

### 【小千谷維持管理事務所】



### 【刈谷田分室】

〒940-0145 長岡市栃堀7297-3

本パンフレットについてのお問い合わせは

長岡地域振興局地域整備部 計画調整課 TEL:0258-38-2614  
FAX:0258-38-2676

◆長岡地域整備部ホームページQRコード



令和8年3月発行